



# 万が一の災害に備える

みんなの力で  
みんなの笑顔を守るために

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年が経過し、わたしたちの暮らしも少しずつ元の生活を取り戻しつつあります。しかし、5月13日の早朝に発生した地震のように、災害は、いつ、どこで、どのように起こるか予測がつきません。自分自身や家族、そして地域を守るためには、何よりも一人ひとりが防災意識を持ち、常日ごろから災害に備えるとともに、地域の防災力を高めることが重要です。市では、今後も地域・自主防災組織・消防団の皆さんと協力し、防災に強いまちづくりに取り組んでいきます。みんなの力で、みんなの笑顔を守るために、今回は、身近に発生するかもしれない災害などについて、その対策などを一緒に考えてみましょう。

☎ 防災安全課消防・危機防災担当  
☎ 23-5144

## 火災に備える

火災は、最も人的要因が多くを占める災害といえます。そのため、一人ひとりが日ごろから注意をすることによって、その発生を防ぐことができる災害です。

### 日常の予防

- 1 料理中は、火のそばから離れず、離れるときは必ず火を消す。
- 2 家の周りは整理整頓し、放

火などをされないように気をつける。

- 3 子どもには火遊びをさせない。花火などは大人と一緒にする。
- 4 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 5 コンセントなどにはホコリを付着させない。
- 6 住宅用火災警報器を設置する。

### 火災が起きたら

- 1 知らせる  
「火事だ」と大声を出して近所に助けを求め、小さな出

火でも、必ず119番へ通報する。

- 2 消火する  
出火から3分以内が自分自身で消火できる限度。水や消火器、濡らした毛布や座布団など、身近なもので消火できる場合もあるが、すぐに消せなかった場合は、決して無理はしない。
- 3 逃げる  
自分で消火することができなかつた場合は、その場からすばやく逃げる。逃げるときは、なるべく火元の部屋の窓やドアを閉めて、空気を遮断する。

## 地震に備える

地震はいつ発生するか予測が難しい災害です。そのため、日ごろの備えや心構えが重要です。

### 日ごろの備え

- 1 非常持ち出し品を準備しておく。
- 2 家具類の転倒・落下・移動防止対策をする。
- 3 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をする。

### 地震が発生したら

- 1 まず、手近な座布団や机の下などで身を守り、屋外の安全な場所に一時避難する。
- 2 揺れがおさまったら、火の

- 3 元を点検する。
- 4 大きな地震後に屋内に入る場合は、靴を履いたまま入る。
- 5 家族の安全を確認し、隣近所に行方不明者がいないか確認する。
- 6 ラジオなどで正しい情報を得る。(デマなどに惑わされないように注意！)
- 7 避難が長引くことが予想される場合は、近所で食料や非常用品を分け合い、市からの支援が来るまで助け合う。

## 風水害に備える

大雨や強風、台風はこれまで何度も日本各地で大きな災害をもたらしています。これら風水害は、気象庁発表の注意報や警報などにより事前に発生の危険性を知ることができ、そのための対策・準備を行う時間が比較的ある災害と言えます。普段から気象情報に気を配ることが重要です。

### 気象情報の確認

気象庁では、対象となる現象や災害の内容によって、16

種類の注意報、7種類の警報、6種類の特別警報と、土砂災害警戒情報を発表しています。

- 1 注意報  
大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるとき。(大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮)
- 2 警報  
重大な災害が起こるおそれがあるとき。(大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮)
- 3 特別警報  
重大な災害が起こるおそれが著しく大きいとき。(大雨・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮)

- 4 土砂災害警戒情報  
大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったとき。
- 5 氾濫  
その場所に降った雨水や、周囲から流れ込んだ水がはげきれずに溜まって起きる洪水。
- 6 内水氾濫  
その場所に降った雨水や、周囲から流れ込んだ水がはげきれずに溜まって起きる洪水。

### 氾濫と土砂災害

大雨などが引き金となって発生する土砂災害には、地鳴りや山鳴りがする、川の水位が下がる、川の水が濁るなど、前兆現象が発生する場合があります。この場合、気象庁の土砂災害警戒情報が発表されていなくても隣近所に声を掛け合い、早めに避難することが重要です。

- 7 外水氾濫  
大雨により川の水かさが増し、堤防を越えたり、堤防を決壊させて川の水が外にあふれて起きる洪水。
- 8 土砂災害  
大雨などが引き金となって発生する土砂災害には、地鳴りや山鳴りがする、川の水位が下がる、川の水が濁るなど、前兆現象が発生する場合があります。この場合、気象庁の土砂災害警戒情報が発表されていなくても隣近所に声を掛け合い、早めに避難することが重要です。
- 9 がけ崩れ  
地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちる現象で、スピードが速く破壊力が大きいのが特徴。
- 10 土石流  
集中豪雨や長雨などにより谷や斜面の土砂が雨や川の水とともに一気に流れ出す現象で、スピードが速く破壊力が大きいのが特徴。
- 11 地すべり  
雨が地中にしみ込み地下水の水位を上げることにより、斜面の一部または全部が動き出す現象で、広い範囲がゆっくりと移動し、被害範囲が大きくなるのが特徴。

## 土砂災害警戒区域等

土砂災害から国民の生命を守る目的で施行された土砂災害防止法に基づき、土砂災害のおそれがある区域について、これまで市内の107カ所が、土砂災害警戒区域等に指定されていましたが、平成27年3月27日に新たに123カ所が追加され、合計で230カ所が土砂災害警戒区域等に指定されています。新たに追加された区域は、本紙4・5ページの表①②のようにあります。土砂災害警戒区域等内また

は近くにお住まいの人は、気象庁の注意報・警報・土砂災害警戒情報や、前兆現象にも注意し、いつもと違うなど感じた場合は、早急に避難するようにしてください。以前に指定されている区域については、広報おおさき平成26年10月号または宮城県公式ウェブサイトをご参照ください。

宮城県公式ウェブサイト  
「土砂災害警戒区域等指定箇所(大崎市)」  
[http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sabonimizusijip/kasyo-osaki.html](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sabonimizusijip/soshiki/sabonimizusijip/kasyo-osaki.html)

## 6月は土砂災害防止月間です



梅雨の季節を迎え、降雨量によっては、山間部や急傾斜地などで、土砂災害の危険性が高まります。特に集中豪雨や長雨の時には注意し、土砂災害の前兆現象などを確認した場合は、土砂災害警戒情報の発表や市の避難勧告などを待つことなく、自主的に避難してください。また、がけ崩れなどの被害が発生した場合は、下記まで連絡をしてください。

☎ 建設課 ☎ 23-8015  
または、各総合支所地域振興課

表②

地域	自然現象の種類	渓流名または箇所名	所在地	土砂災害		指定避難所	
				警戒区域	特別警戒区域		
鳴子温泉	土石流	鷲ノ巣沢	字中野、字鷲ノ巣	○	○	鳴子公民館	
		猪の沢	字赤道	○	—		
		神滝沢	鬼首字上蟹沢	○	○	鬼首地区公民館	
		三滝沢	鬼首字上蟹沢	○	○		
		下蟹沢	鬼首字下蟹沢	○	○		
		境の沢	字久田、字上川原、字蓬田	○	○	川渡地区公民館	
		蓬田沢	字蓬田、字上川原	○	○		
	急傾斜地の崩壊	末沢	字末沢、字末沢西	○	○	鳴子公民館	
		大畑	字大畑	○	○		
		上鳴子	字上鳴子、字河原湯	○	○		
		湯元	字湯元	○	○		
		星沼	字星沼	○	○	中山コミュニティセンター	
		川端	字川端、字星沼	○	○		
		川端	字川端	○	○		
		高剥向 -1	鬼首字高剥向	○	○	鬼首地区公民館	
		高剥向 -2	鬼首字高剥向	○	○		
		地すべり	星沼	字南星沼	○	—	中山コミュニティセンター
	元蛇の湯		字星沼	○	—		
	不二が丘		字星沼	○	—	鳴子公民館	
	鳴子温泉街		字新屋敷、字湯元	○	—		
要害	字要害、字上ノ原、字石ノ梅		○	—	川渡地区公民館		
小身川原	字南山、字小身川原、字新小身川原		○	—			
高剥向	鬼首字広畑、字高剥向、字高剥		○	—	鬼首地区公民館		
岩入1	鬼首字岩入、字岩入向		○	—			
岩入2	鬼首字上岩入、字岩入向	○	—				
田尻	土石流	小里の沢	涌谷町小里字大平、字石田、字原田、大貫字鹿飼道下、字鹿飼道上	○	○	大貫地区公民館	
		鹿飼沢	大貫字山王山、字鹿飼道上、字鹿飼道下、字岩ノ沢、字新平井戸、字新沼頭	○	○		
		山王沢 -1	大貫字又平壇、字宿上屋敷、字宿下屋敷、字館越下、字長水寺浦、字新堤下、字地武長根	○	○		
		山王沢 -2	大貫字又平壇、字宿上屋敷、字宿下屋敷、字館越下、字長水寺浦、字新堤下、字屋敷前	○	○		
		祇助寺沢	大貫字又平壇、字宿上屋敷、字館越下、字宿下屋敷、字長水寺浦、字新堤下	○	○		
		下山居の沢	大貫字又平壇、字宿上屋敷、字下山居、字地武長根、字館越下	○	○		
		桐木沢	大貫字又平壇、字根山、字新田目、字狩野、字下山居	○	○		
		大沢3	大沢字田部堂一、字田部堂二	○	○		
		大沢の沢 -1	大沢字辰沢三、字北ノ沢	○	○		沼部公民館
		大沢の沢 -2	大沢字辰沢三、字北ノ沢	○	○		
		大沢4	大沢字塚越二、字夫ヶ入、字荒屋敷二	○	○		
		大沢5	大沢字猪沢北、字夫ヶ入、字塚越二	○	○		
	柳沢	大沢字猪沢北、字猪沢南	○	○			
	急傾斜地の崩壊	百々 -1	大沢字百々	○	○	沼部公民館	
		百々 -2	大沢字百々	○	○		
		百々 -3	大沢字百々	○	○		
		百々 -4	大沢字百々	○	○		
		百々 -5	大沢字百々	○	○		
		百々 -6	大沢字百々	○	○		
		百々 -7	大沢字百々	○	○		
百々 -8		大沢字百々	○	○			
百々 -9		大沢字百々	○	○			
百々 -10		大沢字百々三、字百々	○	○			
北ノ沢		大沢字北ノ沢	○	○			
南入沢 -1		小塩字南入沢	○	○			
南入沢 -2		小塩字南入沢	○	○			
南入沢 -3		小塩字南入沢	○	○			
南入沢 -4		大沢字百々一、小塩字南入沢	○	○			
洪取		小塩字洪取	○	○			
伝々山 -1		小塩字伝々山、字清水ヶ入、字八ツ沢	○	○			
伝々山 -2		小塩字伝々山、字八ツ沢	○	○			
荒屋敷二	大沢字荒屋敷二、字夫ヶ入	○	○				
百々三 -1	大沢字百々三	○	○				
百々三 -2	大沢字百々三、字清水ヶ入一	○	○				
百々三 -3	大沢字清水ヶ入一	○	○				
八ツ沢	小塩字南入沢、字八ツ沢	○	○				
岩穴前二	大沢字岩穴前二、字岩穴前一、字田部堂二	○	○				

表①

地域	自然現象の種類	渓流名または箇所名	所在地	土砂災害		指定避難所
				警戒区域	特別警戒区域	
松山	土石流	新前田の沢1	次橋字次橋	○	○	松山中学校
		新前田の沢2	次橋字次橋	○	○	
		新前田の沢3	次橋字佐久伝、字次橋、字新石ヶ町	○	○	
		芦ヶ沢	下伊場野字花ヶ崎山	○	○	
		中の谷東の沢	下伊場野字花ヶ崎山、字中ノ谷東	○	—	
		花ヶ崎	下伊場野字花ヶ崎下	○	○	
	急傾斜地の崩壊	下伊場野	下伊場野字花ヶ崎下、字月の輪	○	○	
		佐久伝	次橋字佐久伝	○	○	
		梶沢南	次橋字梶沢南、字芦ヶ沢、字月の輪	○	○	
		梶沢	次橋字梶沢、字梶沢南	○	○	
		佐久伝	次橋字佐久伝、字山根、字長江、字新青木田	○	○	
		次橋	次橋字次橋	○	○	
		北橋の1-1	金谷字北橋	○	○	
		北橋の1-2	金谷字姥ヶ沢、字北橋	○	○	
北橋の2	金谷字北橋	○	○			
三本木	急傾斜地の崩壊	稲荷沢	秋田字稲荷沢	○	○	下三区コミュニティセンター
岩出山	土石流	松崎東沢	南沢字松崎東、字新田、字新田向、字道祖神	○	○	西大崎地区公民館
		松崎東沢二の沢	南沢字松崎東、字新田、字新田向、字道祖神	○	○	
		新田向沢	南沢字曲田裏、字新田、字新田向、字上前坂東	○	○	
		新田沢	南沢字曲田裏、字新田、字新田向、字上前坂東	○	○	
		曲田沢-1	南沢字曲田裏、字曲田、字曲田向	○	○	
		曲田沢-2	南沢字曲田裏、字曲田、字曲田向	○	○	
		曲田沢-3	南沢字曲田裏、字曲田、字曲田向	○	○	
		中田西沢	南沢字中田西、字中名生寺前、字小池坂東	○	○	
		中田西二の沢	南沢字中田西、字中名生寺前、字小池坂東	○	○	
		中田西三の沢	南沢字中田西、字中名生寺前、字小池坂東	○	○	
		小黒ヶ崎沢	池月字上宮小黒崎、字上宮横山、字上宮草井前、字上宮小黒崎前	○	○	
		岩下沢-1	池月字上栗館裏、字上栗岩下、字新根岸	○	○	
		岩下沢-2	池月字上栗館裏、字上栗岩下、字新根岸	○	○	
		岩下沢-3	池月字上栗館裏、字上栗岩下、字新根岸、字上栗根岸	○	○	
		畑中沢-1	池月字上栗館裏、字上栗畑中、字上栗石川、字上栗岩下、字新玉造	○	○	
		畑中沢-2	池月字上栗館裏、字上栗畑中、字上栗石川、字上栗岩下、字新玉造	○	○	
		畑中二の沢	池月字上栗畑中、字上栗岩下	○	○	
		横縄沢	池月字上栗愛宕、字上栗久保前、字新根岸	○	○	
	下一栗沢2-1	下一栗字宿、池月字上栗久保前、字上栗愛宕	○	○		
	下一栗沢2-2	下一栗字岩ノ沢、字宿、池月字上栗久保前、字上栗愛宕	○	○		
	清水前沢	下一栗字宿、字清水前、字宿浦、字新宿浦	○	○		
	天王寺沢2	上野目字下鎌、字新天王寺、字天王山	○	○		
	下鎌沢	上野目字天王山、字下鎌、字新天王寺	○	○		
	沢口沢-1	上野目字沢口、字北田	○	○		
	沢口沢-2	上野目字沢口、字北田	○	○		
	館ノ下沢	字葛岡館ノ下、字葛岡宮地、字葛岡若宮	○	—		
	宮地沢	字葛岡宮地	○	○		
	荒井沢	字上真山荒井沢	○	○		
	南堂の沢	字上真山荒井沢、字下真山中里	○	○		
	中里沢	字下真山中里	○	○		
	急傾斜地の崩壊	上太鼓師山-1	字丸山	○	○	岩出山文化会館 (スコレハウス)
		上太鼓師山-2	字丸山、字西御名掛	○	○	
		下金沢	字下金沢	○	○	西大崎地区公民館
上丸山		下野目字南山、字丸山	○	○		
山口		池月字上栗山口	○	○		
根岸		池月字上栗根岸	○	○		
池月一栗	池月字上栗畑中、字上栗館裏	○	○	池月地区公民館		
畑中の1	池月字上栗畑中、字上栗石川	○	○			
畑中の2	池月字上栗愛宕、字上栗久保前、字新根岸	○	○			
鳴子温泉	土石流	名生定和田沢	字南山、字和田、字小身川原、字新小身川原	○	○	川渡地区公民館
		小身川原沢	字小身川原、字南山、字新小身川原	○	○	
		和田沢	字南山、字小身川原、字新小身川原	○	○	
		大西沢3	字要害、字馬場	○	—	
		大西沢	字馬場、字要害	○	○	
		鷲ノ巣沢2	字中野	○	○	